

団塊世代!! セカンドデビューのすすめ

ながさき

# ダンカース

第5号  
2013年3月

特集  
子ども劇場と  
団塊の世代

子ども、青年たち、そして団塊の  
オールジェネレーションで  
異世代交流を楽しむ。

～ながさき子ども劇場～

- まちなかダンカース  
舞台美術の出口誠一さん
- ダンカースしょっと/私と公会堂
- ダンカースチョイス/春の講座・イベントに参加しよう!

# 自然や文化の力を借りながら、子どもも、青年たち、そして団塊のオールジエネレーションで異世代交流を楽しむ。

46年も続く息の長い活動の歴史の原動力

「ながさき子ども劇場（以下子ども劇場）」の構成メンバーの年齢層は幅広い。赤やんから小中高生はもちろん、20〜50代、団塊世代の前後までの全世代で構成されている。まるで、小さな社会のようだ。これだけ広い世代の人たちにより、息の長い活動が続いている理由は何だろうか？理由を知りたいと思った。

団体の中でも、一人一人の顔が見える活動内容

「子ども劇場」の長崎市で

の発足は、1967年。

誕生してから、すでに46年が経つ。長崎市のほか、長崎県下には佐世保市、諫早市、大村市、壱岐市、波佐見町、に合計6つの子ども劇場があるが、長崎市の「ながさき子ども劇場」が長崎県での運営拠点でもある。昨年末現在、県下の会員数は1031人。そして、その活動は、高学年・低学年を対象とした演劇の運営。

「なぜ劇場なのか」、全体の活動を見守る立場にある団塊世代の古本恭子さんに聞いた。

「人の息づかいが聞こえる舞台を通して、子どもたちが人の痛みが分かる人間に

なつてほしいから」と言う。

また、子ども劇場のメンバーで長崎県子ども劇場連絡会事務局長の田口信子さんは「主な活動は、「観る・楽しむ・育つ」ですね」と言う。会員制で、子どもたちに観せたい演劇を決め、賛同する長崎県下の子ども劇場と日程を決めて、劇団に巡回してもらう。また、観劇会の他にもパザーやキャンプ、中学生合宿など二年を通じた行事を企画し、いろんな世代が楽しく集う。

毎回、子どもたちと青年部メンバーは元気に遊び、団塊世代をはじめとする大人たちは、青年や子どもたちと親しく会話を交わす。

団塊世代の役割は、子どもたちや青年たちを自分の頭で考えて行動を起こせるように導くこと。家庭でもない、学校でもない、他人の大人である団塊世代との触れ合いは、子どもたちの成長に欠かせない「ニュートラルな心の伸びしろ」のように思える。子ども劇場の基本理念もここにある。子どもたちは次第に「生きる力」を持つようになる。

作業を指示する人はいない。皆、自分の意志で動く

この日の餅つきは盛大だった。かまどでは湯気の立つセイロで餅米が蒸し上がりつつあるが、火の守りを担当するのは、団塊世代の古本さんと火吹き竹筒を上手に使う小学生。

「どうね？」「まだ……」。会話の感じが自然で穏やかだ。傍では、団塊世代の松下明さんが黙々と蒸したての餅米を臼へ移す。そこへ、杵を持った中学生や高校生が集まって来て、威勢の良い餅つきが始まった。皆、自分ができること、したい仕事を楽しむ。

各世代にインタビュアーして見えてきたこと

松下さんは言う。

「子ども劇場」というから、子どもがいらないと入れないのかもしれないが、誰でも何んでも入れるんですよ。餅つきは、実の息子とすることはなかったですが、跡取りはこの子たちですよ」と笑う。

傍で鬼ごっこを楽しんでいた小学生にインタビュアー。

「ここは楽しい？」の問いに、「学校とはちょっと違う……」。別な子は、「大きいお兄ちゃんたちが遊んでくれて楽しい」。では、青年たちはどう考えているのか？西岡恭平さん(21)は、「友達に誘われて入りました。自分たちで企画を考えて、協力して達成感を共有できるところが楽しい」。青年リーダーの小山健太さん(22)は、「僕は小さい頃から来ていました。やはり、今の僕たちみたいな青年たちが遊んでくれていました。人から『やらされている感』は全くないです。自主的に動いています」。

年の離れた友達がいって嬉しいと思いました

「子ども劇場」のもうひとつのテーマは、心地よく異世代交流を楽しむこと。

古本さんが言った。「子ども劇場」で嬉しいのは、年齢の違う世代に友達ができることです。道で青年

部の人とすれ違って挨拶した時、その連れの友達が「誰？」と聞きました。「うん、友達」という答えが耳に入ったとき、とても嬉しかったです」。

世代を越えて対等な人間関係を育んできた

親と子を「縦」とするならば、ここには別の角度から若い世代を支える「程よい距離のある関係」が存在する。それは、46年に及ぶ「子ども劇場」の活発な活動の中で、世代を越えて対等な人間関係を育んできた。



年の離れた、火守りの名コンビ。いつもの要領で淡々と動く。



実の息子とは、餅つきしたことはないんですよ。



松の森神社で行なわれた「焼きイイベント」。この日初めて参加した団塊世代たちも数人。初対面なのに、すっかり溶け込んだこの笑顔。

～すべての子どもたちに、生の舞台芸術との出会いを～  
ながさき子ども劇場

- 【入会金】200円
- 【月会費】1,300円 ※4歳以上
- 【今後の予定】
- 4月28日(日)10時～春だ!創作村に行こう。「竹焼きパン」とカレーを作ります。どなたでもご参加ください。
- 5月18日(土)午後2時～、7時～、メルカつきまちホールで。劇団風の子「なんかよーかい」上演。

【連絡先】〒850-0057長崎市大黒町4-26-302  
TEL095-825-0533 FAX095-825-6151  
HP「ながさき子ども劇場」で検索

2013年5月  
低学年・高学年合同例会  
劇団風の子  
なんかよーかい

ぼくのよこにだれがいる。みえないけれどだれがいる。あははとわらってちよつとふしぎ。そんなおかしな物語。

2013年5月18日(土)  
①14:00 ②19:00  
メルカつきまちホール

# 表があれば裏もある。 華やかな舞台の裏には、 いなせな美術職人がいた。



元気な団塊世代の  
合言葉  
「ダンカズしょと？」  
今回は読者アンケートの中から、  
「私と公会堂」を  
ピックアップしてみました。



まぼろしの公会堂  
初舞台から50年。  
いまだに舞台と縁なし

井上 幸雄さん(63歳)

東京オリンピックが開かれた昭和39年、市内の中学校合唱コンクールがありました。会場は完成して間もない公会堂。私も胸躍る初舞台に選ばれました。

しかし、大会前日、何かで先生と衝突し、当日を迎えることに。公会堂前広場での点呼が済むと、隣にいた生徒に「俺、よかけん」とだけ言ってその場をスッと離れました。そして長崎中学校(今の市民会館)の近くでぶらぶらして帰宅しました。

あとで少し叱られました。悔いはありませんでした。それ以来50年間、公会堂の舞台に立つ機会もついにありません。でも不思議と、その時の歌を、ふと口ずさむことがあります。



初めて尽くしの  
公会堂との  
出会いでした

岩永 伸子さん(65歳)

初めて公会堂へ行った日は、すべてが「初めて尽くし」でした。楽団の仕事をしていた親戚が公会堂へ来るというので、諫早の田舎から父親に連れられて初めて長崎へ行きました。

初めて見る路面電車にもビックリしましたが、公会堂の舞台上で青白いスポットライトに照らされた女性歌手の姿は、今も目に焼き付いています。

公会堂からもらった、あの鮮やかな驚きと感動は、これからもずっと忘れることはないと思います。



公会堂で気がついた  
のは、出かける機会を  
逃さないこと

本多 ふみえさん(66歳)

もともと、私は美空ひばりさんのファンで、カラオケでも「東京キッド」をよく歌います。

いつかは、美空ひばりさんのナマの歌を聞いてみたいと思っていましたが、聞けないままになりました。

5年前くらいに、公会堂で谷村新司さんのコンサートに出かけた時に、そのナマの歌声に感動して、「あ〜、これからは機会を逃さずに、いろんなコンサートや集まりには顔を出そう」と思いました。

公会堂は、ホントにすばらしい場所です。たくさんの方のために、長崎の文化を一手に担ってきたのですから。



長崎の街に溶け込んだ  
公会堂の風景は、  
私の日常でもあります

肥後 野里子さん(64歳)

私が通っていた長崎中学校は、今の長崎市民会館の場所がありました。体育館もない狭い敷地の中学校でしたが、私の学年の卒業式は、中学校の前にできたばかりの立派な公会堂で行なわれました。

卒業してからも、いろんなイベントや催しに出掛けましたが、路面電車の音や周りの街路樹や道まですべてが、公会堂の風景だと思っています。

私にとっての公会堂は、日常生活そのもの。毎日を共に過ごしてきたような気がします。



(有)ステージサービス  
住所/長崎市西山2丁目22番18号  
電話/095-827-5346

(写真説明)  
日本舞踊の背景に「現代的な雰囲気」を加えてほしいとの注文で描いたスカイツリー。手前に墨田川を設定して完成する。

「まちなかダンカズ」とはセカンドデビューの「きっかけづくり」を応援している団塊世代をご紹介します。

劇場の幕が上がる数秒間。一瞬、演出された舞台がライトに照らされ華やかに浮かぶ。開演を待ちわびていた客席からは、ウワーツという歓声が湧き上がる。これは、背景などの大道具や照明技術に対する感嘆の声だ。出口さんは「これがあるから、やめられない」と言う。

出口さんは長崎県五島市の出身。高校卒業後、美大進学をあきらめ集団就職で名古屋へ。絵に関わる仕事が多くてディスプレイ専門会社を選んだ。そんなある日、名鉄ホールで劇場の背景の製作現場に遭遇した。

「自分が探していた仕事はこれだ！」と直感しました。すぐに、劇場が多い大阪へ向かいました。

知り合いもいない師走の大阪で、電話帳をめくりながら劇場の職を探す無謀な若者は、一ヶ月ほど駅でホームレス生活しながらも、舞台美術をあきらめる気は全くなかったと言う。苦労の末、「やっと憧れの仕事に就けた時は涙が出るほどうれしかったです」。

しかし、現場は甘くはなかった。厳しい徒弟制度の中、辛抱すること4年。チャンスは来た。テレビの美術スタッフとして抜擢されたのだ。それを皮切りに当時の人気番組「アベック歌合戦」や五木ひろしや八代亜紀などを輩出した「全日本歌謡選手権」の舞台責任者も勤めた。そんな出口さんが長崎へ帰郷したのは、長崎市民会館がオープンした昭和49年。大阪での実績が評価され、公会堂や市民会館で舞台装置や照明などを任された。それから、約40年が経つ。

公会堂や市民会館では、連日のように日本舞踊、バレエ、コンサート、市民の発表会からプロの人気歌手まで、有名無名を問わず様々な催しが行なわれた。出口さんは、舞台の背景画を自らが描き、注文に応じて大道具を作った。「公会堂へ期待と興奮を持ってやって来るお客さんをガツカリさせるわけにはいかない。演劇や音楽・舞踊などに対する、長崎の人の芸術文化意識は高い」と語る出口さん。

「私が描く背景画や舞台装置は演じる人を引き立てるのが役目です。展覧会の絵とは違います」。

先日、公会堂が姿を消すことが決まった。今一度、出口さんの「作品」をじっくり観賞したいものだ。



(有)ステージサービス代表取締役

## 出口 誠一さん

いでぐち・せいいちさん  
昭和18年生まれ

## 長崎伝習所まつり



人材の育成、ネットワークづくりと地域の活性化を目的として、さまざまな取り組みを行っている長崎伝習所。平成24年度に活動を行ってきた塾が、それぞれの成果をパネルや写真などで発表します。

**日時** 3月20日(水・祝)午前11時～午後4時  
**会場** ベルナード観光通り  
**内容** パネル展示、スタンプラリー、クイズ大会など

【問い合わせ】 **TEL.095-829-1125**  
長崎伝習所事務局(長崎市民活動センター内)

## 長崎市相撲甚句会



日本の国技、日本人の伝統文化、大相撲! その担い手であるお相撲さんの間で歌い継がれてきた、「相撲甚句」。その伝統を守り、継承しているのが、「長崎市相撲甚句会」。夏や秋のお祭り、福祉施設の慰問、老人会や敬老会での公演などボランティアを行っています。年齢・性別不問、ご入会をお待ちしています。

**会員募集**  
**日時** 稽古:月2回  
**会場** アマランス(市民会館内)  
**会費** 1,000円/月  
**【問い合わせ】 TEL.090-6422-2255**  
会長:野口えいじ

## 世界新三大夜景



「鶴の港」と称される長崎港を中心に、山々が取り囲むすり鉢状の地形は、長崎独自の立体的な夜景を作り出すとともに、稲佐山・鍋冠山・風頭公園などに代表される多くの視点から夜景を楽しむことができます。なかでもおススメなのは稲佐山から見る夜景。展望台では、イルミネーションが演出する幻想的な光の空間に包まれて見る夜景にきっと魅了されるはず。「見せる夜景」から「魅せる夜景」へ。世界が認めた「長崎夜景」の美を、あなたの目で確かめてください。

### 「ながさきダンカーズ」読者のかたにプレゼント!!

本誌アンケートにご協力いただいたかたの中から抽選で、「長崎ロープウェイ特製キーホルダーと耳かき」を5人にプレゼントします。詳しくは、アンケート用紙をご覧ください。

### ★稲佐山山頂展望台

屋上に散りばめられた照明が、光の空間を演出。時間や期日にあわせて変化するイルミネーションと夜景が、長崎の素敵な夜を演出します。



【問い合わせ】 **TEL.095-822-8888**  
長崎市コールセンター あじさいコール

### ★長崎ロープウェイ

KEN OKUYAMA DESIGNによる全面ガラス張りのスタイリッシュボディ。眼下に広がる長崎のまちを360度望めます。ロープウェイでの空中散歩をお楽しみください。

【運賃】  
往復:1,200円(大人)、  
900円(中高校生)、600円(小児)  
片道:700円(大人)、  
500円(中高校生)、400円(小児)

◎「高齢者いきいきカード」で  
運賃が半額になります

営業時間 午前9時～午後10時  
定員 31人  
所要時間 5分  
駐車場 湊神社駅内無料駐車場完備(14台)

【問い合わせ】 **TEL.095-861-3640**  
(財)長崎ロープウェイ・水族館

## 特定非営利活動法人 市民後見人の会・ながさき

### 後見人養成講座

長寿社会が進む中、成年後見制度の普及と啓発を図り、すべての人が安心して自分らしく生活できる豊かな地域社会の実現を目指します。

【活動の内容】後見活動・市民後見人の養成および研修・後見等についての相談や申立支援・成年後見制度の普及・啓発

**会員募集**  
成年後見制度の活用に関心のある方、市民後見活動に取り組み意欲のあるかたの参加をお待ちしています。(一定の研修が必要です。)

【問い合わせ】 **相談専用TEL.095-893-7041**  
(毎週木曜日午前10時～午後3時) FAX.095-893-7081

## ながさきプロボノ・フェア



### プロボノでつながる輪

プロボノは、あなたが今まで培ったスキルや知識を活かすことができる新しい形のボランティアです。プロボノ・フェアはモロッコでJICAシニア海外ボランティア(助産師)として活動された小橋川直美さんの講演会、助成事例発表、NPO交流会などプロボノが楽しく分かるプログラムとなっています。

**日時** 3月23日(土)午後1時～4時  
**会場** 「えきまえ」いきいき広場(交通会館3F)

【問い合わせ】 **TEL.095-811-1010**  
ながさきプロボノ協議会

## 春の公民館講座生募集(中央公民館)

### ■知って得する!暮らしの中の「お金」の話

年金・医療・介護について分かりやすく解説。最近特に要望の多い相続対策など、豊かにタイヤメントライフのために必要な情報や専門知識を持った講師が分かりやすく説明します。

**日時** 5月14日～6月4日の火曜日  
**会場** 午後2時～4時  
**場所** 市民会館2階 視聴覚室  
**定員** 40人

申込方法=往復はがきの往信面に、講座名、氏名(ふりがな)、性別・年齢、郵便番号・住所、電話番号を書いて、中央公民館までお送りください。※直接来館する場合は、はがきを持参。  
申込期限=3月31日(日)当日消印有効

### ■市民映画会

現代の社会問題をとらえた映画や昔懐かしい映画を上映する予定です。なお、事情により計画が変更の場合もあります。申し込み不要。

**期日(毎月第3土曜日)・映画名**  
4月20日「赤い靴」、5月18日「逢びき」、6月15日「ローマの休日」、7月20日「TOMORROW」、8月17日「父と暮せば」

**時間** 午後2時～4時  
**場所** 市民会館2階 視聴覚室  
**定員** 60人

【申し込み・問い合わせ】  
中央公民館 〒850-0874 長崎市魚の町5-1(市民会館内)  
**TEL.095-825-1948**

## 第17回長崎音楽ボランティア協会ふれあいコンサート



長崎音楽ボランティア協会は、音楽を専門とする会員によって、生の演奏にふれることの少ない方々のために、音楽を通して心豊かなひとときを提供する活動を行っています。今年も長崎を拠点とした音楽家たちによる「ふれあいコンサート」が行われます。

**日時** 4月7日(日)午後2時開演(1時開場)  
**会場** 長崎市民会館文化ホール  
**入場料** 700円(前売り券は弦洋会楽器店にて販売中)

**コンサートの開催依頼 受付中!**  
養護学校・老人施設・病院・幼稚園・学校などで、多くの方々とふれあいコンサートを開催しています。随時申し込みを受け付けています。詳しくは、事務局へお問い合わせください。

【問い合わせ】 長崎音楽ボランティア協会  
会長・馬場幸子 **TEL.090-1199-8865** 事務局・松村久美子 **TEL.090-8221-7108**

# 「ながさきダンカーズ倶楽部」



ただいま、  
会員募集中!

団体シニア世代セカンドデビューを応援する「ながさきダンカーズ倶楽部」に参加しませんか?  
合言葉は、「ダンカーズしよっと?」

- 出入り自由なプラットフォーム、誰でも自由に参加できる
- みんなで「仲間づくり」と「出番づくり」を後押し!
- 情報誌「ながさきダンカーズ」読者の交流の場



毎月の例会は、参加者が自己紹介と「わたしのセカンドデビュー」を語り、自由な時間の費やし方、豊かなセカンドライフプランをみんなで語り合う場。  
みんなと一緒に「仲間づくり」や、これまで培った知識や経験を活かして「出番づくり」。一緒に参加しませんか!

「ながさきダンカーズ」バックナンバー



【特集】  
特定非営利活動法人 ノモッチ  
【大人の放課後】  
長崎路面電車の会



【特集】  
長崎琴海グリーンツーリズム研究会  
【大人の放課後】  
長崎市役所 二胡愛好会



【特集】  
長崎1634  
【まちなかダンカーズ】  
長崎セントラル劇場・前田真利子さん



【特集】  
もってい長崎レクリエーショングループ お手玉の会  
【まちなかダンカーズ】  
スタジオアンジェ・岡野卓二さん

## 《例会のご案内》

- 期 日 / 3月22日(金)・4月26日(金)
- 時 間 / 午後6時～8時
- 会 場 / 市民活動センター「ランタナ」会議室
- 参加費 / 500円(イベント等開催時は実費負担です)

予告!

パソコンより簡単で便利!脳活性化に役立つ!  
**シニアのためのiPadイキイキ体験講座**

- 実施日 / 平成25年4月～
- 内 容 / 簡単な操作や楽しいアプリケーションを体験
- 会 場 / 長崎市内各地区7ヶ所予定
- 参加費 / 500円

※iPadを購入する必要はありません。最新モデル10台をご用意します。

■「ながさきダンカーズ倶楽部」「iPad講座」への問い合わせ  
**TEL.090-2557-4393**(ダンカーズ倶楽部:井手)  
ホームページ「ながさきダンカーズ」を検索!

## 「ながさきダンカーズ」通信

「ながさきダンカーズ」は、今回第5号をもって2年間の長崎市提案型協働事業での発行が終了となります。創刊号からあたたかいご支援をいただきありがとうございます。[ながさきダンカーズ倶楽部]は今後とも活動を継続いたします。合言葉は「ダンカーズしよっと?」(編集長 井手達夫)

ガイドの案内で、「唐人屋敷跡」周辺をさるきましたが知らないことが多々あり。地元の人知ってこそその観光客誘致と感じた一日でした。(N)

初めてひと月に2回、風邪をひきました。自己管理がなっていない、と家族から叱責されました。反省しています。(I)

年老いた父や親しい同級生を亡くし、寂しい秋冬でした。春を迎え、一層社会との関わりを深めて人生の満足度を高めたいと思うこの頃です。(O)

コンサート、演劇、イベント、各種動員…いつのまにか公会堂ファンになっていた、さらば。(M)

◎ながさきダンカーズについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

〈発行元〉 特定非営利活動法人 新現役の会長崎センター / 長崎市 市民協働推進室  
〒850-0022 長崎市馬町21-1 TEL.095-829-1125